

2

伏見区版運動プログラム

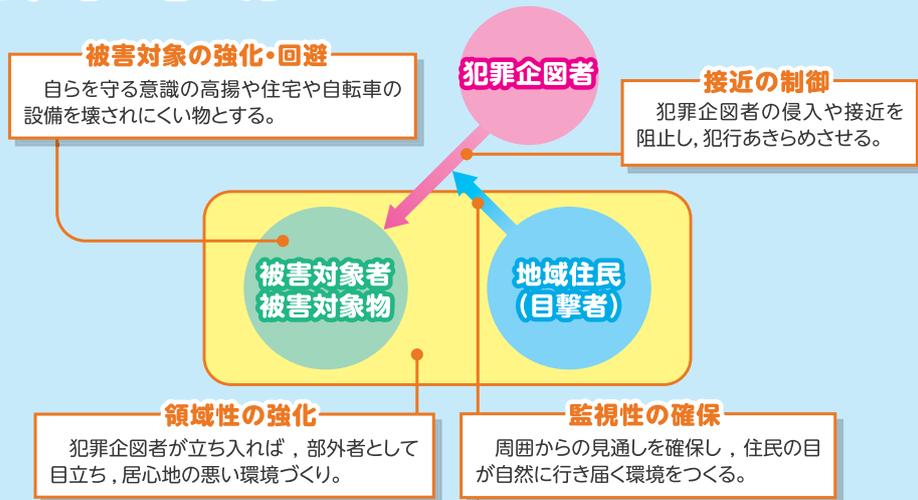
1 防犯環境設計(CPTED(セプテッド))と京都市版CPTED

犯罪を発生させないためには、人の目や防犯カメラの目を増やすなど、犯行に都合の悪い環境や状況を作り出し、犯罪者から犯罪を起す機会を奪うことが大切です。そのための手法として、ハード面の環境整備を中心に、まちの防犯力の向上を図る「防犯環境設計(CPTED)」という考え方があります。

全市版運動プログラムにおいては、このCPTEDに京都市が誇る「地域力」「人間力」を最大限活かしたソフト面の取組を融合させたものを「京都市版CPTED」として推進しています。

防犯環境設計の基本的な考え方

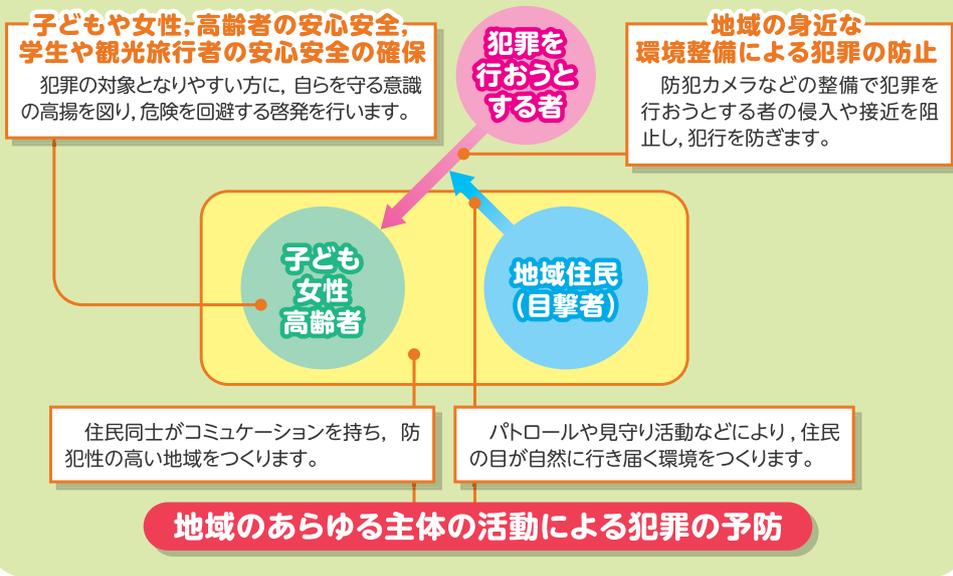
犯罪企図者(犯罪を行おうとする者)に心理的プレッシャーを与えたり、犯罪企図者を寄せ付けない物理的要素による防御、次の4つの手法を有機的に融合させ、相乗効果で犯罪を抑止。



京都市が誇る「地域力」「人間力」を最大限活かしたソフト面の取組を融合

まち全体の総合的な防犯力向上 京都市版CPTED

京都ならではの地域力・人間力を最大限に引き出し、あらゆる主体が、京都市、京都府警察等と連携し、総合的・一体的な取組として進める犯罪予防・防止



地域のあらゆる主体の活動による犯罪の予防

京都市版CPTEDの考え方を基に、防犯環境設計(CPTED)の4つの手法を具体化

2 伏見区版CPTED

本プログラムでは、京都市版 CPTED に基づき、犯罪を発生させない環境整備を進めるとともに、これまでから安心安全の取組を積極的に行ってきた伏見区の「地域力」、「人間力」を活かし、区民、事業者、警察署、行政等が一体となって、更なる地域コミュニティの活性化と共にまちの防犯力の向上のための取組を推進する、「伏見区版 CPTED」を策定しました。

「伏見区版 CPTED」においては、京都市版 CPTED の考え方を基に、防犯環境設計 (CPTED) の 4 つの手法を具体化した「運動の 4 つの柱」を中心とした内容としています。区民、事業者、警察署、行政等と一緒に安心安全について取り組むための共通の視点、取組例を、運動の 4 つの柱ごとに示します (9 ページ以降を参照)。

伏見区版CPTED 区民、事業者、警察署、区役所・支所が一体となり、更なる地域コミュニティの活性化を図ります。

「被害対象の強化・回避」

運動の柱 1 ▶ 伏見の防犯に関心を!

子どもや女性、高齢者、学生、観光旅行者等の犯罪の対象となりやすい方を中心に、区民、事業者の皆様の自らを守る意識の高揚を図ります。

「監視性の確保」

運動の柱 3 ▶ 明るく、見える、伏見に!

地域を明るくしたり、防犯カメラの整備を行うことなどで監視性を高め、犯行を防ぎます。

犯罪を行おうとする者

区民・事業者等
(被害対象)

区民・事業者等
(目撃者)

「領域性の強化」

運動の柱 2 ▶ 伏見の地域に関心を!

住民同士の絆が防犯性の高い地域を作ります。

「接近の制御」

運動の柱 4 ▶ 伏見を美しく!

区民、事業者、警察署及び行政の協働により、地域を美しくし、犯罪者を寄せ付けにくい環境を作ります。

4つの手法を具体化する運動の柱

●手法「被害対象の強化・回避」▶運動の柱1 伏見の防犯に関心を!

安心安全なまちづくりのためには、各人がそれぞれ防犯に関心を持つ必要があります。自らの安心安全を守る意識と、力を合わせて安心安全を守るやさしさあふれるおもてなしの行動が相まって、世界一の安心安全を実現します。

●手法「領域性の強化」▶運動の柱2 伏見の地域に関心を!

区民一人一人の地域への無関心が犯罪の温床になります。犯罪者を寄せ付けない地域づくりを進めます。

●手法「監視性の確保」▶運動の柱3 明るく、見える、伏見に!

住民の思いやりのまなざしや防犯カメラの目が安心安全な暮らしを守ります。

●手法「接近の制御」▶運動の柱4 伏見を美しく!

美しいまちづくりに努めるなど、地域の身の回りでできる環境整備が、安心安全な暮らしにつながります。

3 取組期間

平成 27 年度～平成 32 年度

4 具体的目標

- ① 伏見区内における刑法犯認知件数：**2,000 件台**
(平成 26 年=3,521 件)
- ② 市民生活実感調査：安心して暮らせるまちであると思う伏見区民の割合が **50%以上**
(平成 26 年度=32.3%)
- ③ 京都市域を訪れる外国人観光客満足度調査：治安に関し「大変満足」「満足」と感じた外国人観光客の割合が **95%以上**
(平成25年度「大変満足」=60.5%, 「満足」=30.4%)

※ ③は、全市版運動プログラムと共通の目標としています。

観光旅行者の安心安全について

世界で最も影響力を持つ旅行雑誌のひとつである「Travel+Leisure (トラベル・アンド・レジャー)」誌が行った、世界の人気都市を決める読者投票「ワールドベストアワード 2014」において、京都が 1位になりました。

また、伏見区内には、神社仏閣、酒蔵や名所史跡やかつての城下町、門前町、伝統行事などが受け継がれており、世界文化遺産にも登録されている醍醐寺や商売繁盛・五穀豊穡の神で知られる伏見稲荷大社、環境省の名水百選に選ばれた御香水など観光資源が数多くあります。

このように、世界でも有数の観光都市である京都、その中でも有数の観光地を有する伏見区は、観光旅行者の安心安全を考えていく必要があります。

そして、観光旅行者の安心安全のためには、まず、地域の皆様が安心して安全に暮らせる環境を整えることが必要です。

訪ねたまちが、安心安全で、皆がいきいきとくらしているまちであれば、きっと心に残る旅行となるでしょう。

「安心安全に、笑顔で楽しく暮らし、観光できる、やさしさあふれるおもてなしのまち伏見」を目指して、一緒に頑張りましょう。



5 それぞれの役割と運動の4つの柱

本プログラムの取組として犯罪の起きにくい安全なまちづくりを推進するに当たり、区民、事業者、警察署、また、区役所・支所・消防署をはじめとする行政は、それぞれ次の役割を担い、相互に意見を交換しながら、協働して取組を進めます。

区民、事業者

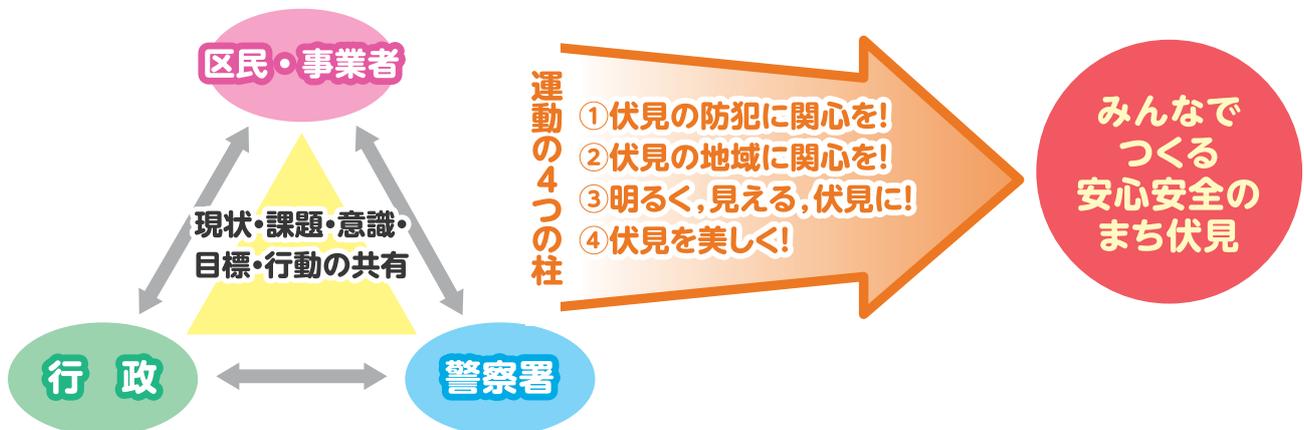
- 自らの安全を確保するために必要な措置を講じ、地域の安全に関する活動に取り組みます。
- 事業活動において、地域における犯罪を防止するため必要な措置を講じるとともに、地域、警察署、行政が実施する施策に協力するよう努めます。
- 自らの創意工夫により、日頃から犯罪に強いまちづくりに努めます。

警察署

- 市民生活の安心安全を守る専門的知見、実践等をもって、助言、情報提供及び施策を推進します。

行政（区役所・支所、消防署等）

- 地域課題等に関するアンケートを実施し、区民、事業者の防犯に関するニーズを調査するとともに、情報提供を行います。
- 安全に関する区民、事業者、観光旅行者等の意識の啓発を推進します。
- 安全の確保に関する区民の自主的な活動の支援を行います。
- 安全な地域づくりのための環境を整備します。
- 放火されないまちづくりを推進します。



より安心安全の輪を広げ、効果的な取組とするためには、地域全体が安心安全に関心を持ち、より多くの区民が実際に活動に参加することが必要です。

本プログラムは、区民一人一人が日常生活の中ですぐに始められるものから、区民、事業者が警察署や区役所・支所、消防署をはじめとする行政と協力しながら進めることで高い防犯効果が望めるものまで、ステップを踏んで、区民、事業者が取り組めるようにしました。

★ ステップ1 ★ 一人一人ですずできる取組を示しています。

★★ ステップ2 ★★ 地域の皆さんと一緒に、まずできる取組を示しています。

★★★ ステップ3 ★★★ 比較的費用がかかる取組、企業としての取組及び多数の地域の皆さんが関わるが必要な取組を示しています。